

Arcserve UDP 7.0 新機能ガイド

オンプレミスの物理/仮想環境からクラウドまで、あらゆるニーズに応える

統合バックアップ・リカバリ ソリューション

Arcserve UDP 7.0 の主な新機能

Arcserve UDP 7.0 は、Windows Server 2019 をはじめとする最新のプラットフォームとアプリケーションへの対応に加えて、Nutanix Acropolis Hypervisor (AHV) のエージェントレスバックアップ対応と柔軟な復旧、Microsoft Office 365 の保護強化を新機能・拡張機能として搭載しています。

最新のプラットフォームに対応

最新の OS やプラットフォームに対応することで、お客様のデータとシステムを確実に保護します。サポートするプラットフォームは、以下の通りです：

- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux/CentOS/Oracle Linux 7.6、Debian Linux 9.6 対応

Nutanix Acropolis Hypervisor (AHV) にネイティブに対応

AHV 環境でエージェントレスバックアップでの運用が可能になり、コスト効率の高い AHV のメリットを十分に活用できるようになりました。また、リストアゼロの復旧で多くの利用実績のあるインスタント VM、仮想スタンプも利用いただけますので、AHV 環境の業務継続が容易になります。

Microsoft Office 365 保護の強化

Exchange Online、SharePoint Online に加えて、OneDrive for Business も保護が可能になりました。増分バックアップと重複排除機能によってクラウドストレージのコストを抑制できるようになります。

新機能の詳細については、[製品ページ](#)、または[カタログセンター](#)でご確認ください。

